

令和8年度 第1回半田市地域公共交通会議 議事要旨

1. 開催概要

開催日時	令和8年6月24日（水） 10時30分～12時00分
開催場所	半田市役所 4階 庁議室
会議次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 地域公共交通会議の概要等について 4. 議題 ≪報告事項≫ 1. 半田市の公共交通について【資料①】 2. 令和7年度「バス事業」の実績について【資料②】 3. 地区交通 B 岩滑小線の速報（令和8年4・5月）実績について【資料③】 4. 令和7年度「タクシー活用事業」の実績について【資料④】 5. 広域おでかけタクシーの速報（令和8年4・5月）実績について【資料⑤】 6. 花園おでかけタクシーの速報（令和8年4・5月）実績について【資料⑥】 7. 生活交通確保計画（愛知県取りまとめ）について【資料⑦】 ※地域間幹線系統補助（半田・常滑線） 8. 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について【資料⑧】 ※R6年10月～R7年9月 運行分 ≪協議事項≫ 1. 半田市地域公共交通会議 令和7年度決算・令和8年度予算について【資料⑨】 2. 令和9年度地域公共交通確保維持事業について【資料⑩】 ※地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（地区交通 A ごんくる） ※R8年10月～R9年9月 運行分 3. 【タクシー】広域おでかけタクシーの実証実験期間延長等について【資料⑪】 4. 【バス】地区交通 A ごんくる亀崎・有脇線の廃線について【資料⑫】 5. 【バス】地区交通 B 成岩東部線の系統の変更案について【資料⑬】 6. 【バス】地区交通 B 瑞穂線のダイヤの変更案について【資料⑭】 7. 【タクシー】おでかけタクシー（板山・花園）の乗降場所の変更等について【資料⑮】 5. 閉会
委員	≪欠席委員≫ 半田市区長連絡協議会 亀崎地区理事 同 乙川地区理事 同 半田地区理事 同 成岩地区理事 半田市市民経済部長
事務局	半田市建設部長 半田市建設部都市計画課 課長 副主幹 主事
傍聴・随行者	傍聴者・随行者 2名

2. 議事概要

≪報告事項≫

1. 半田市の公共交通について【資料①】

（事務局）資料に基づき説明。

- ・近年バス事業のみでなく、タクシー活用事業や様々な実証実験・制度統合を行っている。
- ・資料内に「R8 年度予算」「R7 年度乗車人数実績」「R7 年度実績における1人1回利用する際の行政負担額」も掲載しており、参考にしてほしい。

（松尾委員）「1人1回利用する際の行政負担額」については、相対的な見方であり、数字自体を絶対的な数値にせずに見てもらった方がよい。

2. 令和7年度「バス事業」の実績について【資料②】

3. 地区交通B岩滑小線の速報（令和8年4・5月）実績について【資料③】

4. 令和7年度「タクシー活用事業」の実績について【資料④】

5. 広域おでかけタクシーの速報（令和8年4・5月）実績について【資料⑤】

6. 花園おでかけタクシーの速報（令和8年4・5月）実績について【資料⑥】

（事務局）資料に基づき説明。

（山田代理委員）広域おでかけタクシー実証運行において、例えば予約が取りづらいなどの課題はあったか。

（事務局）「運行区域外に行きたい」「運行時間を拡大してほしい」「自宅近くの乗降ポイントが分からない」などの声はいただいた。

（森川委員）タクシー事業者として供給面の不安もあったが、それほどでもなかった。タクシー事業より、制度運用に係る行政への実績報告で作業量が増えている。

（長田代理委員）おでかけタクシーでは地域や目的地が限られていたが、広域おでかけタクシーになり乗降ポイントが300か所と増え、開始前に配車システムに登録する作業が発生した。

（事務局）制度運用の作業面でデジタル化を進めていきたい。

7. 生活交通確保計画（愛知県取りまとめ）について【資料⑦】

※地域間幹線系統補助（半田・常滑線）

（事務局）資料に基づき説明。

（小林委員）16ページの中段あたり、計画運送量が【14.1】であるが、補助対象となるか。

（事務局）コロナ特例（12.0を上回れば補助対象）が今回まで有効と通知があった。コロナ特例が無い場合は、15.0を上回る必要があり、本数値の扱いについて運輸局内で協議を行ってほしい。

（山田代理委員）利用促進を強化してもらいたい。

（事務局）自治体が独自で差額補助補助をして本来運賃を低額に抑えた場合、計画運送量が減ってしまう。利用促進策として市が補助金を出してでも本来運賃を抑えているにも関わらず、補助落ちしてしまうのはいかがなものか。

（松尾委員）他の自治体でも同じ声が挙がっている。行政が利用者負担を減らして利用促進をした方が補助落ちになってしまうという不思議な構造。見直しを検討してほしい。

（山田代理委員）改めて、補助金部門と協議する。

（松尾委員）地域間幹線系統補助で補助対象となくなった場合、フィーダー系統の補助金にも影響するので、しっかり協議をお願いします。

8. 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について【資料⑧】

※R6年10月～R7年9月 運行分

(事務局) 資料に基づき説明。

➡※意見・質疑等なし

≪協議事項≫

1. 半田市地域公共交通会議 令和7年度決算・令和8年度予算について【資料⑨】

(事務局) 資料に基づき説明。

(松尾委員) 昨年と比べて、補助金額が減少しているのはなぜか。

(山田代理委員) 算定式の単価が変更されたためである。

(松尾委員) 社会の動向に合わせて補助額が上がっていくのが通常の動きである。運輸局内で検討をしてください。

協議結果：承認

2. 令和9年度地域公共交通確保維持事業について【資料⑩】

※地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（地区交通A ごんくる）

(事務局) 資料に基づき説明。

-質疑なし-

協議結果：承認

3. 【タクシー】広域おでかけタクシーの実証実験期間延長等について【資料⑪】

(事務局) 資料に基づき説明。

(山田代理委員) 市内全域化した場合、利用者が増加する。現在行っている運行区域での実証運行での課題を解決しないといけないと感じる。

(事務局) 制度自体には課題はないと考えており、デジタル化を進めることで事務作業の削減を行う。デジタル化については具体的に動き始めている段階である。タクシー会社とは密に連携・協議を行っており、やりながら修正を行っている。12月開催の本会議で修正点があれば報告する。

(森川委員) エリア拡大において、供給面での心配をされると思うが、補充は出来ており、尾張地区ではドライバー人口が増加している。

(小林委員) 乗降ポイントの設定を駅にもすると思うが、バス利用者がタクシー利用に流れないように配慮してほしい。

(長田代理委員) タクシーは定員4名であり、なおかつ乗合行為は出来ないため、バスの利用者を取り合うことはないと感じている。公共交通を充実させて、地域の発展につなげていく。バランス感覚をもって公共交通を支えていきたい。

(松尾委員) 市内全域導入については、今回条件付き承認としたい。バス路線にも配慮して、乗降ポイントの設定をして、もう少し形になってから正式に承認としたい。個人的には難しい面も感じているが、導入に向けて検討を進めてください。

協議結果：条件付き承認（導入に向けて検討を進める）

4. 【バス】地区交通 A ごんくる亀崎・有脇線の廃線について【資料⑫】

(事務局) 資料に基づき説明。

(山田代理委員) 亀有線の利用目的は何か。利用目的をすべて補完できるか。

(事務局) 買い物と医療が主な利用目的である。3分の2以上は補完できているが、その他利用者がそもそもバスに絶対に乗らないといけない人なのか不明である。

(山田代理委員) 定期利用の人には廃線の話を通してほしい。また利用者がそもそも少数であるのであれば、1人ひとりに丁寧に説明をしてほしい。

(事務局) 周知は市報・バス停掲示等で徹底して行う。

(榊原委員) すべての利用者を補完するのは難しい。私も亀崎であり、なおかつ地元のバス会に所属している。地元バス会でも納得はしている。また、亀崎区長会で都市計画課職員に説明をもらった。区長と地元バス会は廃線を了解している。

(松尾委員) 1日あたり40名程度の利用であるが、もし40名がタクシーに変更した場合タクシー事業者として余力はあるか。また、タクシーとバスの違いとして、バスは定時定路線で予約をしないでよい良さもある。フィーダー補助のメニューで相乗りができるタクシーも対象となるので、検討をしてほしい。

協議結果：承認

ごんくる亀崎・有脇線の廃線承認に伴い、協議事項2「令和9年度地域公共交通確保維持事業について【資料⑩】」について、亀崎・有脇線の記述は削除し、事務局に修正を一任することで改めて承認の確認を行った。

5. 【バス】地区交通 B 成岩東部線の系統の変更案について【資料⑬】

(事務局) 資料に基づき説明。

-質疑なし-

協議結果：承認

6. 【バス】地区交通 B 瑞穂線のダイヤの変更案について【資料⑭】

(事務局) 資料に基づき説明。

-質疑なし-

協議結果：承認

7. 【タクシー】おでかけタクシー(板山・花園)の乗降場所の変更等について【資料⑮】

(事務局) 資料に基づき説明。

(松尾委員) 知多半田駅への変更において、バスの利用者がタクシー利用になってしまわないかをモニタリングするようにしてください。

協議結果：承認

-議事終了-